

令和 5 年 8 月 21 日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

関東大震災 100 年企画展 「震災からのあゆみ ー未来へつなげる科学技術ー」 報道内覧会のご案内

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）では、2023 年 9 月 1 日（金）から 11 月 26 日（日）までの期間、関東大震災 100 年企画展「震災からのあゆみ ー未来へつなげる科学技術ー」を開催いたします。

ついては、8 月 31 日（木）17：30 から報道内覧会を開催いたします。ぜひこの機会にご臨席いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、別添資料をご覧ください。

報道内覧会概要

- 【日 時】2023 年 8 月 31 日（木）（受付開始 17：00）
17：30～18：30 監修者紹介・展示解説
18：30～19：30 自由内覧
- 【会 場】国立科学博物館（東京・上野公園）
日本館 1 階 企画展示室および地球館 1 階 オープンスペース

企画展概要

- 【名 称】関東大震災 100 年企画展「震災からのあゆみ ー未来へつなげる科学技術ー」
- 【会 期】2023 年 9 月 1 日（金）から 11 月 26 日（日）
- 【会 場】国立科学博物館（東京・上野公園）
[第 1 会場] 日本館 1 階 企画展示室
[第 2 会場] 地球館 1 階 オープンスペース
[特設会場] 日本館 1 階 中央ホール ※10 月 11 日（水）～
- 【主 催】国立科学博物館
- 【監修協力】東京大学
- 【協 賛】WOTA、応用地質、渋沢栄一記念財団、Jackery Japan、モンベル
- 【後 援】文化財防災センター
- 【特別協力】あいおいニッセイ同和損保、NHK 財団

【お問い合わせ先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

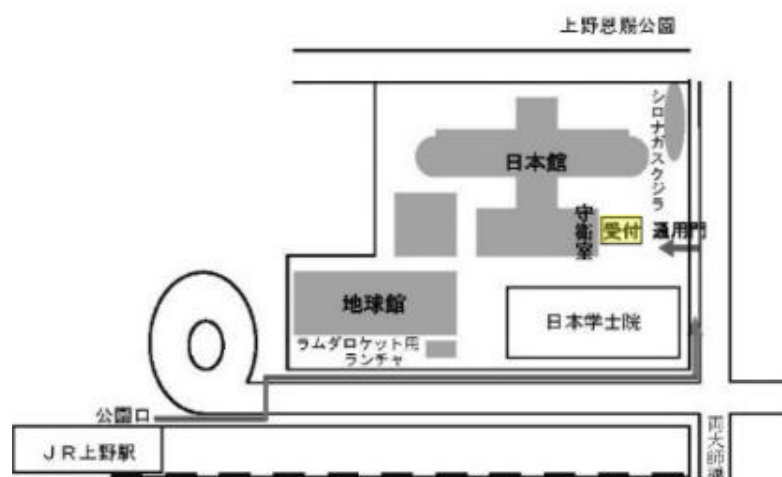
関東大震災 100 年企画展
「震災からのあゆみ ―未来へつなげる科学技術―」
報道内覧会のお知らせ
2023(令和5)年8月31日(木) 17:30 ~ / 国立科学博物館

国立科学博物館では、関東大震災 100 年企画展「震災からのあゆみ ―未来へつなげる科学技術―」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

- 【日時】 2023(令和5)年8月31日(木)
17:30~19:30 (受付開始 17:00)
- 【会場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園 7-20)
日本館 1 階 企画展示室および地球館 1 階 オープンスペース
- 【受付場所】 日本館 1 階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。
- 【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩 5 分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分
京成電鉄上野駅から徒歩 10 分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 17:00 | 受付開始(受付場所: 日本館 1 階守衛室前) |
| 17:30~19:30 | 報道内覧会 |
| 17:30~18:30 | 監修者紹介・展示解説 |
| 18:30~19:30 | 自由内覧 |

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は **8月28日(月) 17:00まで**に、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「関東大震災」報道内覧会申込
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね2日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【本展監修者】



国立科学博物館 理工学研究部 理化学グループ 研究主幹 室谷 智子（むろたに さとこ）

専門は地震学。地震・津波の観測波形記録を使って、どのような地震が起きたのかを調べる研究や、明治・大正期の地震資料から日本の地震調査研究の歴史について調べています。

【監修協力】

- ・ 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長・教授 目黒 公郎（めぐろ きみろう）
- ・ 東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二（はとう えいじ）
特任助教 中尾 俊介（なかお しゅんすけ）
- ・ 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授 渡邊 英徳（わたなべ ひでのり）
- ・ 東京大学生産技術研究所 准教授 大石 岳史（おおいし たけし）

【お問い合わせ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



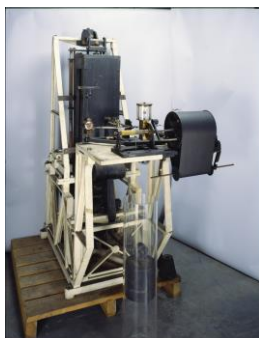
① 関東大震災100年企画展「震災からのあゆみ
—未来へつなげる科学技術—」ポスター

② 油彩画「浅草公園の惨状」
(所蔵：国立科学博物館)

③ 関東地震の本震記録(複写)
(所蔵：国立科学博物館)



④ 海外で使われた被害写真の幻灯
(所蔵：国立科学博物館)



⑤ ウィーヘルト式上下動地震計
(所蔵：国立科学博物館)



⑥ 隅田川復興橋梁模型
(所蔵：国立科学博物館)



⑦ 霞が関ビル建築模型
(所蔵：国立科学博物館)



⑧ 津波フラッグ
(所蔵：国立科学博物館)



⑨ 浅草復興 仲見世通り
(写真：国立科学博物館)



⑩ 浅草復興 仲見世通り
(写真：国立科学博物館、
カラー化協力：東京大学 渡邊英徳 教授)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

1923-2023...

関東大震災100年企画展

震災からの あゆみ

— 未来へつなげる科学技術 —

2023

9.1^金 11.26^日

国立科学博物館 (東京・上野公園)

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
ただし10月2日(月)は開館

会場：[第1会場] 日本館 1階企画展示室
[第2会場] 地球館 1階オープンスペース
[特設会場] 日本館 1階中央ホール
※10月11日(水)～



[入館料] 一般・大学生 630 円 (団体 510 円) ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

※団体は 20 名以上。※高校生以下および 65 歳以上は無料。

[主催] 国立科学博物館 [監修協力] 東京大学 [後援] 文化財防災センター

[協賛] WOTA、応用地質、渋沢栄一記念財団、Jackery Japan、モンベル

[お問い合わせ] ハローダイヤル：050-5541-8600 FAX：03-5814-9898

[ホームページ] <https://www.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

震災からのあゆみ

— 未来へつなげる科学技術 —

関東に甚大な被害を及ぼした

1923(大正12)年関東大震災から、今年で100年です。

本展は、関東大震災とその復興、この100年間の

地震防災研究などについて紹介し、人と自然、科学技術の関係や、

過去から学び未来へつなげていくことの重要性を考える展覧会です。

第1会場 》 日本館 1階企画展示室

第1章

1923年関東地震とその被害 — 関東大震災 —

1923年関東地震がどのような地震だったのか、どのような被害が生じたのか、科学的観点から当時の資料を用いて紹介します。地震が発生するメカニズムや、当時の地震・防災研究や国立科学博物館の活動も紹介します。

第2章

関東大震災からの復興 — 災害に強いまちづくり —

災害に強い帝都をつくるため、耐震・耐火かつ景観を意識した復興計画が立てられました。復興に向けた取り組みが、現在の都市部の基礎となっていることやその課題、さらに関東大震災以降の地震研究や観測体制の変化、国立科学博物館の震災からの復興について紹介します。

第3章

100年間の地震・防災研究 — 災害に負けない国へ —

観測技術の発展によって実現した緊急地震速報や津波情報、建築物に対する防災・減災技術、ライフラインへの対策など、関東大震災から100年間の地震・防災研究の発展のあゆみを紹介します。

第2会場 》 地球館 1階オープンスペース

地震災害は身近に起こりえることだということを理解し、今関東で地震が発生したら、どのような情報が出て、どう行動すればよいのか、どのような被害が想定されるのか、今私たちが考えるべきことや未来へつなげる防災を紹介します。

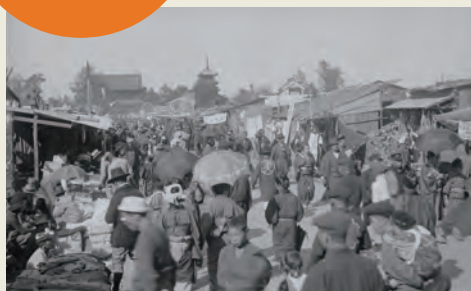
特設会場 》 中央ホール(2023年10月～)

過去から現在まで、災害はどのように伝えられてきたのか。その歴史を辿るとともに、災害を表現した画報や油彩画、絵図などの資料を紹介します。また、これからどのように伝え残していくのか、8Kモニターを用いて最新のデジタル技術を駆使した取り組みを紹介します。

exhibition
PICKUP

科学技術で当時の写真をカラー化！

浅草復興 仲見世通り付近(1923年関東地震発生後、数か月以内に撮影)



カラー化協力：東京大学 渡邊英徳 教授

AI 技術と人の手によって、当時の写真を彩色しました。モノクロ写真だとどこか他人事だった100年前の出来事が、カラー化によって我が事として感じられるでしょうか。

ナビゲーターの
ナマグー



【主 催】 国立科学博物館 【監修協力】 東京大学
【後 援】 文化財防災センター
【協 賛】 WOTA、応用地質、渋沢栄一記念財団、Jackery Japan、モンベル
【特別協力】 あいおいニッセイ同和損保、NHK 財団
【協 力】 NEC、応用地震計測、大林組、鹿島建設、気象庁、国土地理院、国立映画アーカイブ、産業技術総合研究所、清水建設、台東区立下町風俗資料館、第16回日本地震工学シンポジウム、帝国データバンク、鉄道総合技術研究所、東京ガスネットワーク、東京大学、東京都、東京都復興記念館、東武タワースカイツリー、名古屋大学、日建設計、日本地震学会、東日本旅客鉄道、防災科学技術研究所、Eukarya

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
Tel 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
Fax 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

※関連イベントの詳細はホームページをご覧ください。

- JR / 「上野駅」公園口から徒歩 5 分
 - 東京メトロ銀座線・日比谷線 / 「上野駅」7 番出口から徒歩 10 分
 - 京成電鉄 / 「京成上野駅」正面口から徒歩 10 分
- ※当館には駐車場および駐輪場はありません。

